



《将来に向けた取組方針》

2019年度より経営計画「日通グループ経営計画2023～非連続な成長“Dynamic Growth”～がスタートし、「持続的成長と企業価値向上のためのESG経営」を推進しています。環境に関しては、「物流企業としてCO₂削減にこだわる」として、2030年を目標にCO₂排出量削減に取り組んでいます。具体的には、日通グループにおける日々の行動のあり方を規定し、具体的な行動を示す「日本通運グループ行動憲章」にある「地球環境への責任」を推進していくために、「日本通運グループ環境憲章」を制定し、行動指針として自主的・積極的に地球温暖化防止、生物多様性の保全、循環型社会の構築等に取り組んでいます。

〈具体的取組み事例〉



にそれぞれ年2回、森林育成活動を実施しています。

山形県飯豊町と鳥取県日南町において、「森の多面的機能を高める」「地域社会に貢献する」「環境人材を育成する」ことを目的に、夏と秋

〈今後の課題等〉

地球環境の保全は、生物多様性を維持していくうえで基本となるものであり、継続していくことが重要です。長期的な視点をもってこれからも活動を続けていきます。

〈成果〉

2007年から活動を開始し、これまでに9,950本の苗木を植樹しました。

〈メッセージ〉

企業の社会的、公共的使命を自覚し、「良き企業市民」として環境経営を実践することにより、地球環境保全に積極的に貢献していきます。